

# 誘導結合プラズマ (ICP)

誘導結合プラズマ (ICP) は光源に誘導結合高周波プラズマを利用する発光分光分析法です。発光分光分析とは、試料溶液に電氣的、熱的エネルギーを与えることにより発光させ、放射された光を分光器により元素特有のスペクトル線に分け、そのスペクトル線の有無と強度を測定することにより試料に含まれる元素の定性、定量分析を行なうものです。

## ICP の主な特徴

1. ガス状の元素以外の多くの元素 (約 70 種) に対して ppm～ppb レベルの高感度分析が可能です。
2. 同一条件で多くの元素を励起でき、主成分元素、微量成分元素までの多くの元素を同時定量することが可能です。
3. 複雑な前処理をしなくても溶液試料の分析に直接応用できます。



## 仕様

機種 : ICPS-7000 (SHIMADZU)

高周波電源 : 40.68MHz

分光器波長範囲 : 190nm～850nm

測定元素数 : 72 元素

## 測定費用、測定所要時間

測定費用 : 1 試料 5,000 円～

固体試料など前処理が必要なものは 10,000 円～

結果の引渡し : 概ね 1 週間後